

- ライフプランの考え方を学ぶ
- ライフプランとお金との関係を理解する
- キャッシュフロー表の作り方・活用法を学ぶ
- ライフプランは一人ひとり違うことを知る

1. 将来、どんな自分になりたい？

今のお金・将来のお金

メジャーリーグで大活躍するイチロー選手が、幼い頃から具体的な目標を決めてトレーニングし、甲子園に出る。そして、プロ野球の選手になるといった夢を次々に実現していったのは有名な話だが、君たちの人生においても、行き当たりばったりで過ごすのではなく、明確な目標を定めて計画的に準備を進めることで、より早く効率的に夢や目標を実現することが可能になる。

今、君たちが抱いている夢や目標はどんなことだろうか？ 二十歳になるまでに車の免許を取りたい、サッカーのワールドカップを見に行きたい、いつかは可愛い花屋を開きたい……など、将来やってみたいことや手に入れたいものがあるのでは？ そして、それらを実現するには、ある程度まとまったお金が必要ではないだろうか。お金は、今必要なものや欲しいものを手に入れるためだけでなく、「貯蔵手段」として利用し将来の夢や目標を実現させるための道具でもある。お金には「今のお金」と「将来のお金」があるということだ。ここでは後者、将来のお金について考えてみたい。

ライフデザイン

まず、少し長い目で見た将来を想像してみよう。君たちは自分の人生をどんなふうに生きていきたいと思っているのだろうか？

この問いが、大きすぎたり漠然としすぎているとしたら、例えば3年後、5年後、どこで、どんな暮らしをしているかを想像してみよう。大学や専門学校に進学している？ 好きな仕事に就いてバリバリ働いている？ 見聞を広めるために世界中を旅している？ 大好きな人と結婚して幸せな家庭を築いている？ それとも……。こんなふうに、

- 自分がどう生きていきたいか
- どんな働き方や暮らし方をしたいか

などを考えることを「ライフデザイン」という。真白なキャンパスに自在に絵を描いていくように、自分の人生をデザインしていくわけだ。

一つの手がかりとして、表1を参考にすればいいと思うが、イメージは自由に広げよう。現実にはさまざまな制約や障害があるかもしれないけれど、ここはひとまずそういう枠を取り払って、自分が本当に好きなこと、やってみたいことを書き出してみよう。

●表1 ライフデザインのための選択肢

高校を卒業したら、何をしますか？	大学へ進学する 専門学校へ進学する 就職する その他
どんな働き方をしたい？	会社員や公務員として勤める 独立して仕事をする その他
どんな仕事をしたい？	農林水産業 鉱業 建設業 製造業 情報通信業 運輸業 卸売・小売業 金融・保険業 不動産業 飲食店・宿泊業 医療・福祉 教育・学習支援業 サービス業 公務 その他
どんな暮らし方をしたい？	結婚する？しない？ 子どもは欲しい？ 持つなら何人？ 家を買いたい？それとも、ずっと賃貸？ その他
将来やってみたいことや手に入れたいものは？	資格を取りたい？どんな資格？ 車が欲しい？どんな車？ 海外に行きたい？どこにどれくらいの期間？ その他

▶ワークシート⑦ 私の夢・目標

★将来の夢・目標★

★5年後の私（ 歳）
▶ 将来の夢や目標を実現するために、中間時点でどんなことをしていますか？

働く・学ぶ	○どこで ○どんな仕事や勉強をしていますか？
暮らす・遊ぶ	○どこで ○どんな暮らしをしていますか？

★（ ）年後の私（ 歳）
▶ 将来の夢や目標を実現する時点でどんなことをしていますか？

働く・学ぶ	○どこで ○どんな仕事や勉強をしていますか？
暮らす・遊ぶ	○どこで ○どんな暮らしをしていますか？



2. 夢の実現は、いつ・いくら？

「今」と「夢」とをつなぐかけ橋

次に、もう少し身近で具体的なことを考えてみよう。

明日どうしているだろうか。1週間後、1ヵ月後、今学期が終わる頃、1年後、そして学校を卒業する頃は……？ 今ここにいる君たちが、少しずつ将来に向かって歩いていく。クラスメートや先生、学校、家族、近所の人たち、そしてみんなを取り巻く社会、国、さらには世界中が一瞬たりとも歩みを止めることなく移り変わっていく。その中を、君たちは自分自身のいくつかの夢や目標に向かって進んでいくことになる。

では、「今の君たち」と君たち自身が抱く「夢や目標」とをどうつなげればいいのか。話が遠すぎて、どうすればいいのかわからないことも多いかもしれない。でも、もう見えていること、実現したいこと、決まっている予定もあると思う。それらをつなぐ一つひとつ、時間を追って順に挙げてみるというのはどうだろう。例えば、これから高校を卒業するまでに、どんなハードルがあるか。大学や専門学校に進学したり、職業に就いたりしたら、どんなことが待っているのか……。

そんな当面の予定や目標を、君たち自身が「よし」と思えるような形で乗り切っていこう。その繰り返しの中で、次々に現れる新しい場面が、大きな夢への「かけ橋」の築き方を徐々に教えてくれる。おそらくイチロー選手だって、



若い頃からメジャーリーグのマリナーズに入団して安打の世界記録を達成しようとは考えてはいなかっただろう。そのときに見えること、目先にある目標をクリアすることによって次が見えてくる。ステップを一段一段、確実に上っていくことが大切だ。

3. ライフイベント表・キャッシュフロー表を作る

ライフイベント表を作ってみよう

進学や就職、転職、結婚、出産、マイカーやマイホームの購入など、人生の節目となる出来事を「ライフイベント」と呼ぶ。進学や就職は、まもなく迎えるライフイベントなので、現実感があると思う。しかし、結婚やマイホーム購入となると、あくまでも予想に過ぎないかもしれないが、何歳ごろにという、今の時点での君たちの思いを整理する感覚で考えられればいっただろう。

海外留学や資格取得などの具体的な目標があれば、そのライフイベントをいつ頃に達成したいのか、そのためには、準備をいつから始めればいいのかもハッキリしてくるはずだ。夢や目標の実現へのステップが見えてくるかもしれない。

また、君たちの家族にも、いろいろなライフイベントが予想される。親が定年を迎えたり、兄弟姉妹が結婚したり、家の引っ越しやリフォームをしたりということもあるだろう。自分や家族のライフイベントを表にまとめると「ライフイベント表」ができる（ライフイベント表の作り方はP.99表2参照）。

ライフイベントには、お金がかかるものが多い。そこで、資料「さまざまなイベントと準備資金額」（P.103）などを参考にして、ライフイベントにどれくらいの金額が必要か、見積もってみよう。この金額を、これから説明する「キャッシュフロー表」に反映していくことになる。

こんな風に、自分のライフデザインに基づく具体的な計画を「ライフプラン」という。

キャッシュフロー表の作成

ライフイベント表を作り、自分の将来を、あれこれ考えてみるのは結構楽しいことだと思わないか？ それも、単に想像するだけでなく、年表を作ってその中にさまざまな情報を実際書き込み、目に見える形で表現すると、イメージがぐっと具体的なものになるはずだ。自分の夢や目標の実現のために、どのように準備していけばいいのかも、少しずつ見えてくるだろう。

では、もう少し前に進んでみよう。このライフイベント表に、もっと多くのお金の情報を付け加えることにする。ライフイベント表に出てくるお金は、将来の夢や目標のために使うものだ。では、毎日の生活のためのお金は？ また、働くことによって得られるお金はどうだろう。そして、夢や目標の実現に向かって貯めていくお金も表現できるほうがいい。

このように、

- イベントや生活に使うお金 (= 支出の予想)
- 働くなどして入ってくるお金 (= 収入の予想)
- 貯めていくお金 (= 貯蓄の予想)

などの、「今」から将来に向かってのお金の情報を整理したものを「キャッシュフロー表」と呼んでいる。君たちの将来を、お金の面で予想することを通じて、夢や目標の実現の具体的な方法や、毎日の暮らしの安定のさせ方、さらには、災難や不幸なことに遭遇したときの対処の仕方などについて考えるための、とても大切なツールだ。



この表を実際に作るのは、まだ自分で収入を得ることが少なく、家での暮らしや学校生活のためのお金を親に依存している君たちには、少し難しく感じられるかもしれないが、その作り方を表2にまとめてあるので、ぜひ試してみてください。この経験は、近い将来、きっと役に立つだろう。

●表2 ライフイベント表・キャッシュフロー表の作り方

作り方の手順

◆ライフイベント表

- ①「年」の欄を作り、暦年・元号などを記入する。
- ②家族など、登場人物を記入する（ペットを記入する人もいる）。
- ③「年」に合わせて、登場人物の年齢（年度末現在の年齢）を記入する。
- ④「年」に合わせて、イベントを記入する。
（進学・就職・結婚・退職予定などの人生の節目、住宅・クルマ・耐久消費財など大きな買い物、旅行、法事など）
- ⑤それぞれのイベントの実現に、必要と思われる金額を調べて記入する。
*金額がよくわからないものは、家族に聞いてみよう
*イベントの金額は、「今」の金額で考えること

◆キャッシュフロー表

- ⑥「収入」欄の作成
 - どんな収入が発生しそうかを考えて、収入の項目を作る。
 - 各収入がどの年から発生するかに注意しながら金額を想定し記入する。
（金額がよくわからないものは、とりあえず「想像」の金額を入れておく）
 - ⑦「支出」欄の作成
 - 各イベントごとに想定した金額は、「その他」とか「一時的な支出」などの項目を作り、発生する年ごとに金額を合算して記入しておく。
 - このほかにどんな支出が発生しそうかを考えて、支出の項目を作る。
 - 各支出がどの年から発生するかに注意しながら金額を想定し記入する。
（金額がよくわからないものは、とりあえず「想像」の金額を入れておく）
 - ⑧各年ごとに、収入と支出の合計金額を記入する。
 - ⑨各年ごとに、年間収支（収入計－支出計）の金額を算出する。
（収入計よりも支出計のほうが多い場合は、マイナスの金額をそのまま記入する）
 - ⑩各年の「貯蓄残高」を、以下の計算式で算出していく。
前年の貯蓄残高±その年の年間収支の金額
（年間収支の金額がマイナスの場合は、貯蓄残高が減る）
- その他
- 将来の収入や支出に、給与や物価などの上昇（変動）率を考慮して、金額を予想する方法もある。
 - 貯蓄残高に、貯蓄の利息分や投資利益などを考慮して、金額を予想する場合もある。

ワークシート⑧ ライフイベント表・キャッシュフロー表を作ってみよう

男子。進学する場合の記入例。

西暦	年	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後
○年	現在										
家族等・年齢	本人	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	配偶者									25	26
	父	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
	母	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
	兄	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	妹										31
ライフイベント	今後の大きな目標	・大学に進学して、経済学を学ぶ。 ・新聞記者になって、日本中を取材して回る。					・28歳で結婚・子どもは2人ほしい。 ・50歳くらいで独立し、作家になる。				
	働く	アルバイト					就職				
	学ぶ	大学進学									
	遊ぶ	海外旅行(30万円)					海外旅行(30万円)				
	イベント						一人暮らし				
家族等	父						結婚式				
	母						定年				
	兄	大学卒業					就職				
その他											
収入	私の収入	50	60	60	60	300	300	320	320	340	340
	配偶者の収入										240
	親の援助										100
	収入計	50	60	60	60	300	300	320	320	340	680
支出	生活費	就職するまでの生活費などは親が出してくれる予定。									
	住居費					100	200	200	200	200	240
	イベント費用			30		10	10	30			400
	その他	20			40		50				
	支出計	20		30	40	110	350	290	320	290	760
	年間収支	30	60	30	20	190	▲50	30	0	50	▲80
	貯蓄残高	20	50	110	140	160	350	300	330	380	300

(単位：万円)

女子。就職する場合の記入例。

西暦	年	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後	7年後	8年後	9年後	10年後
○年	現在										
家族等・年齢	本人	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	父	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
	母	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
	妹	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	兄										25
ライフイベント	今後の大きな目標	・旅行会社に就職する。 ・アロマセラピーの資格を取り、将来はお店を持つ。					・毎年家族で国内旅行をする。				
	働く	就職					退職				
	学ぶ	アロマセラピー講座に通う					語学学校に通う				
	遊ぶ	国内旅行					国内旅行				
	イベント	成人式					国内旅行				
家族等	父						結婚式				
	母										
	妹	高校入学					専門学校進学				
その他											
収入	私の収入	220	220	222	222	224	224	227	227	229	
	配偶者の収入										100
	親の援助										
	収入計	220	220	222	222	224	224	227	227	329	
支出	生活費	84	84	84	84	84	84	84	84	84	
	住居費	親と同居									
	イベント費用	10	10	10	10	10	10	10	10	40	250
	その他			10	15	15	40	40	40		
	支出計	94	104	109	109	119	134	134	134	124	250
	年間収支	126	116	113	113	105	90	93	93	205	▲250
	貯蓄残高	20	146	262	375	488	593	683	776	869	824

(単位：万円)

キャッシュフローを読む・使う

キャッシュフロー表からは、いろいろな情報を読み取ることができる。例えば、年ごとに入ってくるお金（収入）や出ていくお金（支出）を計算するので、ある年にお金が足りるか足りないか（黒字か赤字か）の予想ができる。また、貯蓄の残高がどんなふうに変えたり減ったりするかも一目で把握できる。キャ

ッシュフロー表から得られる情報とライフイベントとを照らし合わせることで、「独立して一人暮らしをすると、ほとんど貯蓄ができそうもない」「クルマの購入時に大きな赤字が発生する」などといった問題点を見つけることもできるだろう。

そして、将来の、主に支出の数字については、発生する年や金額をいろいろと自由に変えてみることもできる。例えば今、進学に関して「国公立か私立か」「文系か理系か」と迷っている人もいるだろう。どちらにするかで金額が違はずだ。また、「一人暮らしを始める時期を3年遅らせてみたら」「新車ではなくとりあえず中古で」など、イベントとして書き込んだ内容とは別の選択肢もある。そのように、キャッシュフロー表の上でさまざまな可能性を試してみることが「シミュレーション」というが、キャッシュフロー表はそんなふうに使

4. 私のライフプラン

まわりの状況を考えたプランを

将来のことは、必ずしも予想どおりにはいかない。けれども、ライフイベント表・キャッシュフロー表を作ることで、思い描いた夢や目標が実現できるかどうかについての、ある程度の見通しを持つことができるのは、わかってもらえただろうか。

もし、将来進む方向が、まだはっきりとは決まっていなかったら、いくつかのパターンを考えて、シミュレーションしてみるといいだろう。進学した場合と就職した場合の比較や、仕事をずっと続けた場合と結婚や出産で早めに辞めた場合との比較など、いろいろなパターンを試してみるうちに、自分自身の本当の望みに気付いたり、現実的な選択肢が絞り込まれてくるようなことがあるかもしれない。

また、前にも少し触れたけれど、できれば自分一人のことだけでなく、自分を取り巻く家族のこともキャッシュフロー表に反映させたい。例えば、これから5年以内に弟も大学に進学する、お父さんの定年退職が近い、わが家の住宅ローンの返済はまだ10年以上残っている……。こういった問題について、親や兄弟姉妹たちはどのように考えているのだろうか。家族みんなで話し合ってみることがあるだろうか？ 家族の援助によって、夢や目標の実現が早まることもあれば、反対に家族の事情のために自分の夢の実現は後回しになることがあるかもしれない。家族の状況を把握することで、今まで気付かなかったことが発見でき、夢や目標の実現の仕方が、ぐっと現実性を増してくることだろう。

ライフプランは十人十色

最後にもう一つ、当然のことだがライフプランは人それぞれに異なる。将来の目標、価値観、家庭環境などは一人ひとり違っているのだから、十人いれば十通りのライフプランができる。十人十色、いや、自分自身についても複数のプランが考えられるから、一人十色ともいえる。そういう自分らしさを大切にしたい。プランの作成を誰かに少し手伝ってもらうことはあるかもしれないが、結局は自分でしか作れないはずだ。

そうやって自分独自のライフプランを立てることができれば、どんな形で行動し、努力したほうがいいのかも見えてくる。今はまだ高校生だから、それは進学・就職に向けての行動に限定されるだろうが、働くようになったら、すぐにお金の面での行動も重要になる。夢や目標の実現に向けたマネープランが必要だ。

いつまでに、どれだけのお金を用意しなければならないのか。すべての希望を満たすのが難しいとしたら、優先順位はどうつけるのか。不足するお金はどうやって貯めたり増やしたりすればいいか。貯めるためのお金はどのように捻出するのか……。このテキストで学んだ多くのお金に関する知識は、そういうテーマに取り組むことになって、はじめて本当の威力を発揮するに違いない。

このように、自分のライフプランを実現するために、具体的な資金計画を立てて実行していくことを「ファイナンシャル・プランニング」という。君たちはこのテキストでその基本を学んだ。ファイナンシャル・プランニングは、君たちの人生をさまざまな意味で実り多いものにしてくれる方法なのだ。

